

# 認知症の人への対応の心得 “3つの「ない」”

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない



認知症の人への対応には認知症に伴う認知症機能低下があることを正しく理解していることが必要です。認知症の人を支援するという姿勢が重要になります。

## 具体的な対応の7つのポイント

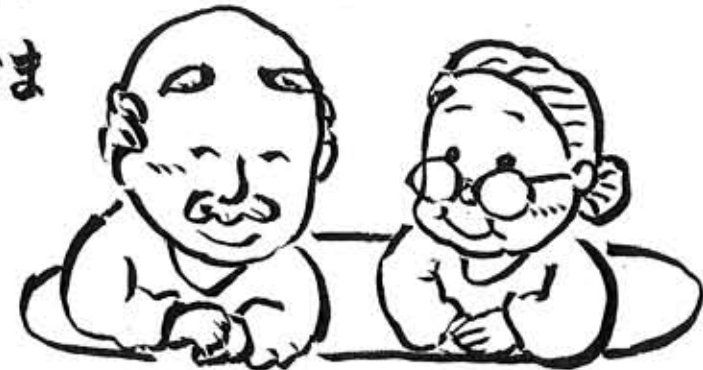
### まずは見守る

一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。

### 余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わり、動揺させてしまいます。

自然な笑顔で応じましょう。



**声をかけるときは1人で** 複数で取り囲むと恐怖心をあかりやすくするので、できるだけ1人で声をかけます。

**後ろから声をかけない** 一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかけます。唐突な声かけは禁物。



**相手に視線を合わせてやさしい口調で**

小柄な方は場合は体を低くして視線を同じ高さにして対応します。

**おたやかに、はっきりした話し方で**

高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくり、はっきりと話すように心がけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。その土地の方言でコミュニケーションをとることも大切です。

**相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する**

認知症の人は急かされるのが苦手です。同時に複数の方に答えることも苦手です。

たとえたとしい言葉でも、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきます。

